

細胞の機能を引き出す生体関連材料の設計・合成と評価

オーガナイザー：

岡山大学

産業技術総合
研究所

大矢根綾子

東京工業大学

生駒俊之

九州大学

都留寛治

早川 聡



セッションの概要

高度な医療を実現するためには、細胞機能の調節に関わる生体物質との複合化、化学組成の精密制御、精密な構造制御、材料表面の物性制御、材料の生体力学的性質など、多岐にわたった材料設計と合成手法、材料と生体との相互作用の評価技術が必要となる。そこで本セッションでは、細胞機能を最大限に引き出すための生体関連材料の設計指針、合成手法、構造及び機能性の評価とその実効性について理論から実践まで討論する。

セッションの主なテーマ・キーワード

医用セラミックス、バイオマテリアル、リン酸カルシウム、細胞機能、生体内反応、表面、界面

招待講演者（予定）

伊藤敦夫（産業技術総合研究所）
斎藤直人（信州大学）
手嶋勝弥（信州大学）

依頼講演者（予定）

岡田孝夫（(株) 生体分子計測研究所）
福田竜司（メイワフォーシス（株））

発表形式

口頭発表・ポスター発表を募集します。なお、若手（36才以下）の口頭発表は奨励賞の対象となりますので多数の応募をお待ちしております。

協賛（予定）

日本セラミックス協会生体関連材料部会、日本歯科理工学会、日本バイオマテリアル学会等

連絡先 satoshi@okayama-u.ac.jp（早川）